

2 資産に含まれる文化財

(1) 整理表

構成資産

I 三徳地区

名 称	保護主体	保護の種別	員数	概 要
三徳山	国	名勝及び史跡	591 ha	三徳山三仏寺の縁起によると、慶雲3年(706)役行者開山、三仏寺は嘉祥2年(849)慈覚大師創建と伝わる。山内には奇岩等の奇勝が点在しており、修験の行場跡が今も数多く伝わっている。中世の動乱期には盛衰を繰り返すが、近世には鳥取藩の宮所として保護され、藩主のための祈禱を行った。地形や気候の影響によって、標高に比して冷涼な環境に生育する植生が形成されている。また、照葉樹林からブナ林帯に至る植生の垂直分布が今も良好に保たれている。 昭和9年9月7日国名勝及び史跡指定。
1 三仏寺奥院(投入堂)	国	国宝	1棟	平安時代後期。懸造、流造、檜皮葺。縁板から1098年(辺材型)の年輪。蔵王権現を祀る。三徳山の自然共生思想を表す懸造の構造と平安時代の建造物の特徴である優美で伸びやかな屋根は崖下から仰ぎ見るといふ特異な設計により美の極致を体現する。
2 愛染堂	国	国宝(附)	1棟	国宝三仏寺奥院(投入堂)の附。平安時代後期。檜皮葺、切妻造。古材(叉首台)から1021年(辺材型)の年輪。岩窟の形状にあわせ屋根の一部を切り落とすなど、自然を守りつつ建立するための工夫が見られる。
3 三仏寺納経堂	国	重要文化財	1棟	平安時代後期。春日造、こけら葺。1082年(心材型)の年輪。岩の窪みに沿うように建てられる。
4 三仏寺地藏堂	国	重要文化財	1棟	室町時代後期と推定。懸造、入母屋造、こけら葺。岩塊上に懸造によって建てられる。子守権現を祀る。南北朝時代にはこの堂にこもり写経が行われた。
5 三仏寺文殊堂	国	重要文化財	1棟	天正8年(厨子金具銘)の建築と推定。懸造、入母屋造、こけら葺。岩塊上に懸造によって建てられる。勝手権現を祀る。 厨子金具は天正8年(1580)南条氏一族の寄進。
6 三徳山三仏寺建造物群(不動堂)	鳥取県	保護文化財	1棟	江戸時代後期と推定。切妻造向拝付。
7 三徳山三仏寺建造物群(元結掛堂)	鳥取県	保護文化財	1棟	江戸時代前期と推定。春日造、こけら葺。剃髪した僧の髪を納めた。
8 三徳山三仏寺建造物群(観音堂)	鳥取県	保護文化財	1棟	江戸時代前期。正保5年(1648)初代鳥取藩主池田光仲が再建。入母屋造、旧こけら葺。岩窟内に建つ。行者道は堂の背後を通過し「胎内くぐり」と言われる。
9 三徳山三仏寺建造物群(鐘楼堂)	鳥取県	保護文化財	1棟	鎌倉時代の可能性あり。切妻造、こけら葺。
10 三徳山三仏寺建造物群(十一面観音堂)	鳥取県	保護文化財	1棟	江戸時代中期と推定。切妻造、向拝付。こけら葺。
11 三徳山三仏寺建造物群(本堂)	鳥取県	保護文化財	1棟	天保10年建築(寺伝)。宝形造、こけら葺。現在解体修理中。貞享5年(1688)初代鳥取藩主池田光仲が造営。天保10年(1839)7代池田斉訓が再建。
12 香楼堂	三仏寺	-	1棟	江戸時代後期と推定。宝形造、こけら葺。現在トタン仮葺。
13 輪光院	輪光院	-	1棟	もと法明院。慶長4年(1599)建立と伝わる。
14 正善院	正善院	-	1棟	もと禅梁院。慶長4年(1599)建立と伝わる。
15 皆成院	皆成院	-	1棟	もと龍城院。
16 畠谷神社	合谷区	-	1棟	享保の絵図に「旗牛王」と記載。

17 平神社	成区	-	1 棟	行者道中の天神社を移したと伝わる。
18 正善院庭園	鳥取県	名勝	13 a	江戸時代初期と推定。文殊堂を借景とする。鳥取藩主が愛でたと伝わる。
19 しめかけ杉	三仏寺	-	1 本	行者道入口にある樹齢約1000年とも伝わる神木。三徳山の歴史を絶えず見守り続けてきた。「とっとりの名木100選」に選定されている。
20 行者道	三仏寺	-	600 m	投入堂までの行場。歴史的建造物が点在。道中にはカズラ坂、クサリ坂、馬の背・牛の背など難所が続く。
21 宿入橋	三仏寺	-	1 基	行者道の入口にある神域と俗世の結界。
22 役行者像	三仏寺	-	1 軀	行者道中かずら坂手前にある石像。
23 行者屋敷跡	三仏寺	-	200 m	行者道中にあり、柱穴等確認される。行者の修行拠点。中国景徳鎮産磁器が出土。
24 夫婦杉	三仏寺	-	1 本	観音堂前にかつて2本あった大木。現在は1本。
25 千軒原	合谷区	-	7 ha	三徳川右岸にある平坦地。「九曜千軒原」とも。かつての僧坊跡と伝わる。
26 三徳風穴	合谷区	-	1 基	千軒原にある石室。年間を通じ10℃前後という低温を保つ。天然の貯蔵庫として養蚕などに利用した。
27 毘沙門岩	合谷区	-	-	千軒原北側に位置する大岩。毘沙門天の顔に似る。
28 大門跡	合谷区	-	1 組	2本の石柱が立つ。その姿は享保の絵図にも記載。発掘調査により石柱間を通過する道路跡を確認。
29 大門坂	三徳山区	-	-	三徳川左岸から大門跡に向かい川に下る坂。
30 海老谷	三徳山区	-	2 ha	享保の絵図等により清涼院跡と伝わる。
31 海老谷の滝	三徳山区	-	15 m	海老谷上流にある滝。信仰の対象となった。
32 観音院遺跡	三徳山区	-	-	中世から近世の建物跡、鉄加工施設跡が出土。
33 垢離取川	三仏寺	-	1 条	行者が入山する前に心身を清めたと伝わる。
34 不動滝	三仏寺	-	10 m	垢離取川にある滝。信仰の対象となった。
35 鮎返りの滝	合谷区	-	6 m	三徳川本流にある滝。信仰の対象となった。
36 阿弥陀滝	成区	-	26 m	成の上流にある滝。享保の絵図に記載がある。
37 鑪鞆邸滝	成区	-	10 m	成の上流にある滝。信仰の対象となった。
38 栗滝	成区	-	23 m	享保の絵図記載の「念仏滝」か。
39 部屋の谷滝	成区	-	-	享保の絵図記載の「成滝」か。
40 向滝	成区	-	21 m	成集落の対岸にある滝。信仰の対象となった。
41 馬場	合谷区	-	-	三徳山に入山する際ここで下馬したと伝えられる。
42 大鳥居	合谷区	-	1 基	元治元年(1864)、倉吉の涌島氏奇進の石の大鳥居。

II 神倉地区

名 称	保護主体	保護の種別	員数	概 要
神倉地区	神倉区	-	100 ha	三徳山の信仰と関連する神社や祭祀遺跡が存在。かつては三徳山の山頂付近を越え行者が往来した。冠岩等の岸壁には絶滅が危惧される希少な植物が生育している。
43 神倉神社	神倉区	-	1 棟	神倉にある神社。平安時代の如来坐像などが伝わる。
44 冠岩	神倉区	-	-	岩蔵など修験道の祭祀遺跡が残される。

III 小鹿地区

名 称	保護主体	保護の種別	員数	概 要
小鹿溪	国	名勝	826 ha	延長約3kmの渓谷。三徳山の自然林と連続。三徳山同様指定地内には原生的な植生が保全されている。中世三徳山嶺に含まれる。現在も3院の檀家が多数存在する。また、祭礼行事を支える神人株が現在もつたわっている。昭和12年12月8日国名勝指定。
45 山伏の滝	神倉区	-	8 m	神倉に所在し、行者が修行した滝。

資産の範囲内にある関連文化財

名 称	保護主体	保護の種別	員数	概 要
棟札	国	国宝(附)	1 枚	投入堂の附。永和元年(1375) 銘修理棟札。
古材	国	国宝(附)	43 点	投入堂の附。大正修理で取り外された古材。
木造蔵王権現立像 (奥之院安置)	国	重要文化財	1 軀	投入堂正本尊。平安時代後期。檜材、寄木造。木造蔵王権現立像の代表作例とされる。康慶作とする説あり。
紙本墨書仁口(安)三年 造立願文	国	重要文化財 (附)	1 巻	木造蔵王権現立像(奥之院安置)の附。仁安3年(1168) 銘あり。
木造蔵王権現立像	国	重要文化財	6 軀	投入堂脇本尊。平安時代。すべて檜材、一木造。もと彩色。6-1像から1025年(樹皮型)の年輪。
木造聖観音立像(観音堂 安置)	国	重要文化財	1 軀	本来十一面観音。平安時代後期と推定。檜材、一木造。
銅鏡	国	重要文化財	1 面	中国浙江省博物館所蔵鏡と同一の鏡背文様。鏡面に胎蔵界中台八葉院線刻。長徳三年(997) 銘あり。
銅造誕生釈迦仏立像	鳥取県	保護文化財	1 軀	平安時代と推定。山内出土と伝わる。
木造蔵王権現立像	鳥取県	保護文化財	1 軀	正善院蔵。平安時代後期と推定。檜材、一木造。
木造狛犬	鳥取県	保護文化財	1 対	鎌倉時代後期と推定。檜材、寄木造。投入堂内蔵王権現の前に安置された。
三仏寺本堂俳諧額	三朝町	保護文化財	1 面	江戸時代の奉納俳句。本堂裏に掲示。
男神座像	三朝町	保護文化財	1 軀	平安時代と推定。一木造。
女神座像	三朝町	保護文化財	1 軀	鎌倉時代と推定。一木造。
宮本包則刀剣	三朝町	保護文化財	1 振	明治43年、帝室技芸員宮本包則作。
写経	三朝町	保護文化財	11 巻	主に南北朝時代。豊前国からの奉納や血書もあり、当時の信仰の篤さが伺える。
木造蔵王権現立像	三仏寺	-	1 軀	本堂安置。平安時代後期。1002年(辺材型)の年
木造狛犬(阿形)	三仏寺	-	1 軀	投入堂安置。平安時代。1099年(辺材型)の年輪。
木造地藏菩薩坐像	三仏寺	-	1 軀	地藏堂本尊。南北朝時代。
木造毘沙門天立像	三仏寺	-	1 軀	平安時代と推定。一木造、内ぐり無。
木造男神坐像	三仏寺	-	1 軀	室町時代。永正17年(1520) 銘。都の仏師栄海金剛
木造男神坐像	三仏寺	-	1 軀	室町時代。天文10年(1541) 銘。山城国の仏師作。
木造男神坐像	三仏寺	-	1 軀	室町時代。天文10年(1541) 銘。山城国の仏師作。
木造男神坐像	三仏寺	-	1 軀	室町時代と推定。
木造女神坐像	三仏寺	-	1 軀	平安時代と推定。本来は町指定男神座像と対か。
木造僧形坐像(律師行)	三仏寺	-	1 軀	室町時代。一木造、内ぐり無。応永33年(1426) 銘。
木造僧形坐像(律師秀)	三仏寺	-	1 軀	室町時代。檜材、寄木造。
木造僧形坐像(大阿闍梨 重秀)	三仏寺	-	1 軀	江戸時代。檜材、寄木造、内ぐり有、彩色無、さし首、彫眼。万治3年(1660) 泊村休哲作。
唐櫃	三仏寺	-	1 合	南北朝時代。1369年(辺材型)の年輪。
美徳山三佛寺境内絵圖	三仏寺	-	1 幅	江戸時代。享保19年(1734) 銘。
参籠札	三仏寺	-	1 枚	南北朝時代。貞和2年(1346) 銘。
白磁香炉	三仏寺	-	1 口	中国宋代と推定。比叡山横川経塚出土品と同形。
青磁鉢	三仏寺	-	1 口	中国宋代と推定。
青磁水注	三仏寺	-	1 口	中国宋代と推定。
鉄製鰐口	三仏寺	-	2 口	室町時代と推定。文殊堂及び観音堂の鰐口。
銅印	三仏寺	-	1 顆	昭和26年(1949)。帝室技芸員香取秀真鑄造。
禁制札	三仏寺	-	1 枚	檜材。鳥取藩による禁制札。宝暦9年(1759) 銘。山内での樹木伐採、殺生等を禁じる。
神輿	三仏寺	-	2 基	御幸行列の際子守権現、勝手権現が乗る神輿。子守権現の神輿に天保5年(1834) 再建と銘あり。
獅子頭	三仏寺	-	1 面	蔵王権現が乗るとされる一角獣型の獅子頭。輪光院の仏間に本尊同様大切に祀られたと伝わる。
木造如来坐像	神倉区	-	1 軀	神倉神社蔵。平安時代と推定。檜材、一木造。冠岩で祭っていたものを神社に下ろしたとの伝承あり。
木造天部立像	神倉区	-	1 軀	神倉神社蔵。平安時代と推定。檜材、一木造。
鉄製鰐口	神倉区	-	1 口	神倉神社蔵。室町時代と推定。直径36.5cm。

資産の周辺にある関連文化財

名 称	保護主体	保護の種別	員数	概 要
鬼岩	坂本区	-	-	三徳山で処罰された罪人の首をさらしたと伝わる。

坂本風穴	坂本区	-	1 穴	坂本黒川上流にある石室。年間を通じ低温を保つ。
中津の普賢堂	三朝町	保護文化財	1 棟	正善院所管。平安時代の邪鬼などが伝わる。
中津神社	個人等	-	1 棟	三徳山の木造狛犬（阿形）と似た石造狛犬がある。
伝安徳天皇陵	個人等	-	1 基	中津にある平家落人伝説に由来。
伝平家一門の墓	個人等	-	1 基	中津にある平家落人伝説に由来。
伝二位尼の墓	個人等	-	1 基	中津にある平家落人伝説に由来。
南条家古文書	三朝町	保護文化財	1 通	中津に伝わる南条氏の山林境界裁定文書。天正7年(1579)銘。
木造台座（多聞天像邪	正善院	-	1 基	普賢堂所蔵。平安時代と推定。一木造。近世修補。
木造台座（持国天像邪	正善院	-	1 基	普賢堂所蔵。平安時代と推定。一木造。近世修補。
道しるべの地蔵	個人等	-	-	三徳山の参道に点在する、参詣者の道しるべのための地蔵。

資産に関連する祭礼行事、民俗慣行等

名 称	保護主体	概 要
三徳縁	三仏寺	4月18日に行われる春季法要。御幸行列、大護摩供が行われ、参拝者で賑わう。
三徳縁御幸行列	三徳縁御幸行列保存会	起源は室町時代に遡ると推定。小鹿・三徳地域の住民がさまざまな役を担う。神輿に乗る御正体（正善院蔵）木箱に大永6年(1526)銘。
神人株	坂本区	三徳縁で行われる御幸行列で諸役を担当。坂本（正善院系統）、東小鹿・西小鹿（輪光院系統）の特定の家が世襲制で勤める。
榊組	坂本区・東小鹿区・西小鹿区	三徳縁の御幸行列で、榊・幟・囃子方を勤める。坂本の特定の家が世襲制で勤める。
部落まいり	各区	三徳山近隣の村（俵原・吉原・成・合谷・坂本）で病人が出た時、村人が集団で三徳山に詣で、治病祈願を行う。
三徳山をひらく	俵原区	俵原で年2回、三徳山の掛軸を祀り、念仏や般若心経を唱え、直会をする。
氏子	個人等	灑水で盃がためを行い、氏子台帳に記帳された人々。「権現さんの子供になる」と言い、檀家・信者・一般参詣者以外の寺院外護者。